

令和3年3月25日

令和2年度 第3回 大阪市立難波中学校 学校協議会 実施報告書

校 園 名 大阪市立難波中学校
校 園 長 名 鍋谷 賀都緒

日 時	令和3年3月24日（水） 18:30～19:30（1時間00分）	
場 所	大阪市立難波中学校 多目的室（新館1階）	
出席者	委員 など	脇原 健二（会長） 豊嶋 睦子（副会長） 潮 秀樹（副会長） 福田 麻衣子（書記） 末吉 典子（委員） 川村 明奈（委員） 井上 隆裕（委員） 西田 拓也（委員） 坂本 安敏（委員） 浅田 正仁（委員）
	校 園	鍋谷 賀都緒（校長） 大宅 淳一（教頭） 京田 将典（教務主任） 高久 裕次（人権教育主担） 平島 陽介（生徒指導主事） 谷口 英代（学校元気アップ地域コーディネーター）
	区役所	松村 智志（こども・教育担当）
議 題	1. 「運営に関する計画」について（最終評価報告） 2. チャレンジテスト（1・2年生）について 3. 「校長経営戦略支援予算」について 4. 「学校元気アップ地域本部事業」について（活動報告） 5. 学校評価 6. 情報交換 7. 連絡事項等	
協 議 要 旨	協 議 の 結 果	
	1	「運営に関する計画」の中期目標、年度目標の達成状況の結果と分析について承認された。
	2	今年度の各種テスト（チャレンジテスト1・2年生）の結果と分析について承認された。
		意 見 の 概 要
		<p>学力の向上について、各種テストで経年比較することができず、学習内容の理解度が向上しているかどうかわからない。話し合う活動をフェイスシールドやタブレットを使って行い、昨年度を大きく上回ることができた、と報告した。</p> <p>あわせて、体力の向上については、コロナ禍ではあったが、球技大会などを実施し、一定の効果をあげていると報告した。</p> <p>いじめや不登校の件数が増えており、コロナ禍でストレスを抱えている生徒は、思っているより多く、しっかりと学校でのようすを注視してほしい、と意見された。</p>
		<p>今回のテストだけでは、コロナ禍での学習の定着を判断するのは難しいが、2年生については、昨年度より結果が振るわず、学力の二極化が進んでいることを報告した。学力低位層の底上げが大きな課題であることを共有した。また、アンケートで携帯電話の使用時間が長くなっており、オンライン学習のためかどうか、今後確認する必要がある、と助言された。</p>

協議 要旨	3	「校長経営戦略支援予算」について承認された。	「校長経営戦略支援予算」、「学校力UP支援事業予算」については、予定の活動がコロナ禍で実施できなかった分、電子黒板などのICT機器の充実に努めた。 また、「ブロック化による予算」で、図書室のバーコード化が完了したこともあわせて報告した。
	4	「学校元気アップ地域本部事業」の今年度の活動について承認された。	今年度の活動報告を行った。今年度はコロナ禍で図書室を開館できなかった。その分、学習会を週2回から3回に増やし、「居場所」としての役目も果たすことができたと報告した。学力の向上とあわせて心の安定にも努めてほしい、と意見された。
	5	学校評価を行った。	コロナ禍で家庭環境の悪化などが増えないよう、学校としての対策を詳細に伝えた。特に、SCやSSWなどの外部機関との連携も積極的に行うよう、意見された。また、タブレットの利用についても、今後、子どもたちのためになる活用方法となるよう、推進していくよう意見された。
	6	情報交換を行った。	学校選択制による影響はどうか、漢検の合格率について、ハイパーQUの実施と活用について、ヤングケアラーについて、就学援助費の受給率について、地域資源の有効活用についてなどを全体で意見交換し、情報共有することができた。
	7	連絡事項を受けた。	今年度は2年間の学校協議会委員の任期の1年目で、来年度も引き続きお願いしたいことをお伝えした。 入学式は卒業式同様、出席をご遠慮いただくこと、ホームページ等で学校での情報を確認してほしいこともあわせてお伝えした。
協議 資料	(学校より) ・令和2年度 大阪市立難波中学校 第3回学校協議会次第 (裏面：学校協議会名簿) ・令和2年度 運営に関する計画 (最終評価報告) ・令和2年度 運営に関する計画 学校運営の年度目標の達成状況 ・令和2年度 「難波中学校のあゆみ」 チャレンジテスト(1・2年生)結果記載シート、生徒質問紙 調査結果 ・令和2年度 校長経営戦略支援予算 実施報告書 ・令和2年度 大阪市立難波中学校学校元気アップ地域本部事業 最終活動報告書		
備考	傍聴者[0]名		
	欠席者なし。		